



## 基本理念：地域に親しまれ信頼される病院

- 基本方針
1. 患者様中心の医療を提供します。
  2. 安心・安全な医療を提供します。
  3. 保健・福祉と連携した医療を提供します。
  4. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。



## 7月1日より在宅療養支援病院制度を始めます

在宅療養支援病院とは、患者様が住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、定期的な訪問診療を受けている患者さんのご家族の求めに応じ、緊急時の訪問や入院など、必要に応じた医療・看護を提供できる病院のことです。



○在宅療養支援病院として登録できる主な要件は

1. 24時間連絡を受ける医師または看護職員を配置し、その連絡先を提供していること。
2. 患家の求めに応じて、往診可能な体制を確保し、往診担当医の氏名、担当日等を提供していること。
3. 患家の求めに応じて、訪問看護ステーション等との連携により、訪問看護の提供が可能な体制を確保し、担当看護職員の氏名、担当日等を提供していること。
4. 在宅療養患者様の緊急入院を受け入れる体制を確保していること。

当院では、以上のような要件を整え、本年7月より在宅療養支援病院としての対応を開始します。

今後、在宅で訪問診療を受けている患者さんは、一層安心して在宅療養が続けられると思います。当院では、在宅療養を希望する患者様を、さらに支援していきたいと考えます。お困りのことがありましたら、電話で相談してください。

なお、この体制を継続するには、大きな負担がかかりすぎると維持できなくなります。なるべく「早い時間」「早期相談」を心がけてください。地域柄、夜間・深夜の訪問は、なるべく避けるようご協力をお願いします。この制度の導入により、手厚い安心が得られますが、費用の面でご負担が少し増えることになる場合がございます。在宅療養支援病院に関する詳しい内容をお知りになりたい方は、当院の地域連携室までご相談ください。

院長 関口哲夫



## 【糖尿病予防教室】

町では、「体重が増えたり・血糖値が上がったり」糖尿病の始まりかなと心配な方、糖尿病と診断された方、家族に糖尿病の人がいる方を対象に糖尿病予防教室を開催いたします。

医師や栄養士と一緒に、自分の健康のために考えてみませんか。町民の方は、どなたでも参加できますので気軽にお申し込みください。

記

- 1日 時 平成27年7月24日(金) 午後2時～3時30分  
 2内 容 糖尿病とは? 山下医師の話  
 うまい食事の食べ方 管理栄養士の話  
 なぜ?運動が必要 運動指導士の実践  
 3場 所 小鹿野町児童館2階(病院の隣)  
 4申 込 先 小鹿野町保健課 75-0135  
 小鹿野中央病院 75-2332

## 外来からのお知らせ

診察日の変更

心療内科：7月18日(土) 診察日  
 7月25日(土) 休診日

休診日

耳鼻咽喉科：7月21日(火) 山下 Dr  
 医師の変更

整形外科：7月4日(土)

関口 Dr から吉原 Dr へ変更

# 私の経験した「外来受診・入院・退院」

匿名希望

ある日の夜中、喉に違和感を感じ目が覚めた。そして水分でも取ろうかなと思い、ジュースを口にして飲もうとしたら喉を通らず飲めない。「あれ？何かいつもと違うぞ」と思いながら、上を向いて少しでも喉を通る格好で水分を補給しました。その日が金曜日の夜で、あいにく次の日が第4の土曜日だったので町立病院は休診日。仕方なく月曜日まで何とか我慢して、早々に午前の総合外来を受診しました。先生は「扁桃腺は赤いが腫れてはいない」と言って、「念の為採血して耳鼻科に紹介しましょう」と言いました。私は、何か風邪薬でも出してもらえればいいのにとお思いでしたが、指示に従いました。運よくこの日は耳鼻科が午前中の診療日だったので、待つことなく耳鼻科を受診することが出来ました。そして、喉頭ファイバー（内視鏡検査）を行い耳鼻科の先生から驚きの言葉を聞かされました。「これはダメだ！すぐに入院だ」私には何が何だか分かりませんでした。先生の話はこうでした。「喉頭蓋が腫れて気道をほとんど塞いでいる。これ以上腫れると窒息して死んじゃうよ。すぐ入院して治療をしないと！」とのことでした。私は自分の目でその状況を見ていないので納得は出来ませんでした。あれほど先生が言うのだから、ただ事じゃないのは感じました。渋々指示に従い入院することにしました。



町立病院は耳鼻科の入院はないので、私の希望を聞いていただき埼玉医大の耳鼻科に入院できるようにお願いしてくれました。町立病院は、患者の希望を出来る限り聞いてくれると以前から知っていました。そして、家族に連絡して自分の車で行こうと思ったら、救急車で行くように言われ、またびっくり！人生初めての救急車の体験でした。埼玉医大に行って、また喉頭ファイバー（内視鏡検査）を行い、モニターの画像を自分の目で見て、「こんなに腫れているのか、このままじゃ死んじゃうよ」と先生が言った意味が分かり、あらためて「ぞ～」としました。お陰様で、町立病院の手際よい対応と埼玉医大の快い受け入れのお陰で、抗生剤とステロイドの点滴のみの治療だけで1週間で退院でき、事なきを得ました。遅くなりましたが、病名は{急性喉頭蓋炎}と言う病気でした。

終わりに、こんな小さな町の病院でも、しっかりと医療の連携があり、「患者のために頑張っている」と思い、あらためて町立病院の存在を感じました。お陰様で元気になりました。大変ありがとうございました。

このような経験をした患者様もいます。心配なときには早めに受診しましょう。当院は大学病院とのネットワークを持っていますので、スムーズな連携ができて良い結果が得られました。まずは病院に相談を！ 院長

## 小鹿野町民の皆さん こんにちは

火曜日の婦人科外来を担当している今井雄一と申します。浜松で大学生活を謳歌し（部活動で野球に大半の時間を注ぎ込みました）、卒業後は実家もある横浜で産婦人科医として勤務して参りました。早いもので十年余りが経過し、現在は日高にある埼玉医科大学国際医療センターで、婦人科がんを専門に診療に当たっています。そして昨年度より週1回のみですが町立病院でお世話になっています。



### 今井雄一医師

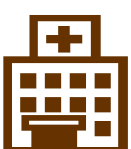
専門分野：婦人科腫瘍学  
主な資格：日本産科婦人科学会専門医

小鹿野町へは自宅からも職場からも片道1時間半程度を要しますので、決して楽な道のりとは言えませんが、既に外来でお会いした方々には大変快く迎え入れて頂き、私にとっては第二の故郷のような大切な場所になっています。

診療時間は午前9時から14時30分までと限られていますが、子宮頸癌検診、子宮筋腫や卵巣嚢腫のフォローアップ、更年期障害の治療、婦人科特有の月経やお下のお悩みへの対応等を中心に外来診療をおこなっています。

直接命には関わらないけれども、日常生活の質を著しく低下させる婦人科疾患、例えば月経異常、更年期、子宮脱等を皆さんと一緒に考える機会は私にとっても大変貴重な時間です。また、命に関わる悪性腫瘍の可能性があれば高次医療機関へ速やかにご紹介させていただきます。病院の中でも、つつい足が遠のく婦人科だとは思いますが、お悩み相談も兼ねてお気軽に受診いただけますと幸いです。

金曜日には同じく国際医療センターより小笠原仁子が婦人科外来にお伺いしています。皆さんには週2回の診療となりご不便をおかけしますが、今後ともよろしくお願い致します



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313 健診センター 0494-72-7510

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。